

報道関係各位

 医療法人偕行会
 名古屋市中川区法華 1-172

市民公開講座「そうだったのか認知症」を開催

2025年には65歳以上の5人に1人が「認知症」になるといわれています。「認知症」は誰にでも起こりうる身近な病気です。「認知症」の専門家を招き、病気について正しく理解し、本人や家族の生活の質を向上させるための「市民公開講座」を開催します。

■ 市民公開講座 概要

講座名	市民公開講座「そうだったのか認知症」
会場	ウインクあいち 9F 901 (住所：名古屋市中村区名駅 4丁目 4-38)
開催日	2019年6月22日(土)
開催時間	14:00 ~ 16:00
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・第一部「そうだったのか認知症」 意外と知らない認知症の初期症状や「治る認知症」についても詳しく解説 講師：藤田医科大学 認知症・高齢診療科 教授 武地 一 先生 ・第二部「偕行会城西病院の認知症に対する取り組み」 認知症カフェで日頃行っている音楽療法・運動療法・笑いヨガの紹介・体験
参加費	無料
定員	150名 1組2名まで(応募者多数の場合は抽選)
申込み	必要(5/31締切) ・偕行会グループホームページ (https://www.kaikou.or.jp/) により専用フォームにて ・ハガキに必要な情報(郵便番号/住所/氏名/生年月日/性別/電話番号/参加人数/市民公開講座で聞いてみたいこと)を記入の上、医療法人偕行会広報課あて送付。
主催・問い合わせ	医療法人偕行会 法人本部コーポレートブランディング部広報課 TEL. 052-352-1517

■ 講師の紹介



藤田医科大学 認知症・高齢診療科

教授 武地 一 先生

〈専門・実績〉

認知症、高齢者総合的機能評価、地域連携、高齢者内科診療一般

日本老年医学会専門医・指導医・代議員、日本認知症学会専門医・指導医、

日本内科学会総合内科専門医、認知症サポート医

近著：「認知症カフェハンドブック」(2015年)、「ようこそ、認知症カフェへ」(2017年)

Press Release

■ 認知症は身近な病気

高齢化の進展に伴い、認知症高齢者数が増加しています。2025年には全国で675万人、名古屋市でも11万2千人になるといわれています。これは65歳以上の5人に一人の割合です。85歳以上の約4割、95歳以上の約8割が認知症とも言われています。

■ 認知症に対する正しい知識を学ぶ

認知症にはいくつかのタイプがあり、薬や食事などによって症状が改善されるものもあります。また、認知症とよく似た症状がみられても、ほかの病気という場合もあります。そのため、「認知症」かもしれないと疑われる場合には、早期に受診し、適切な診断を受けることが大切です。

<認知症の主なタイプ>

① 脳血管性認知症

脳卒中をきっかけに生じる認知症。薬やリハビリで症状が改善することがあります。

② アルツハイマー型認知症

認知機能全般が低下します。早期発見により薬で進行を抑えることが可能。

③ レビー小体型認知症

特殊なタンパク質の固まり（レビー小体）が原因で生じる認知症。幻視や妄想を伴う。

■ 借行会城西病院の認知症対策

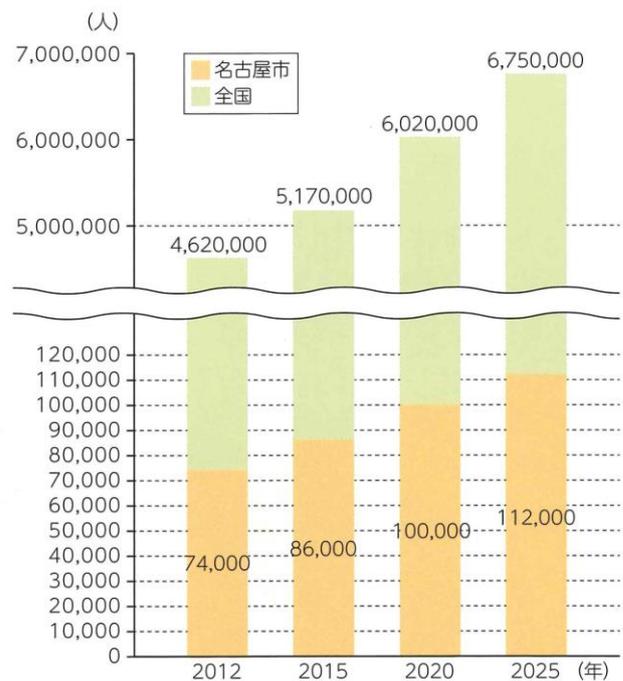
借行会城西病院では、2015年10月から認知症カフェ「ほっとカフェじょうさい」を運営。地域住民が集うことができる場として毎日開催されています。2017年5月からは「音楽療法」を取り入れ、地域住民と作ったオリジナルソングはCDにもなりました。表情をあまり変えない参加者が思い出の曲を聞き、泣いたり笑ったりと変化が見られます。

そのほか、頭の元気チェックと題した「軽度認知障害（MCI）」の検査、「運動療法」や「笑いヨガ」などを積極的に実施しています。



音楽療法の様子

認知症高齢者数の将来推計



厚生労働科学研究「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」(平成26年度)

<本プレスリリースに関するお問い合わせ>

医療法人借行会 法人本部コーポレートブランディング部広報課 担当：岩田

TEL：052-352-1517 / FAX：052-363-7237 / 携帯：080-2632-7281

E-mail：kouhou@kaikou.or.jp

借行会グループ HP：<https://www.kaikou.or.jp>

Facebook：<https://www.facebook.com/kaikou>